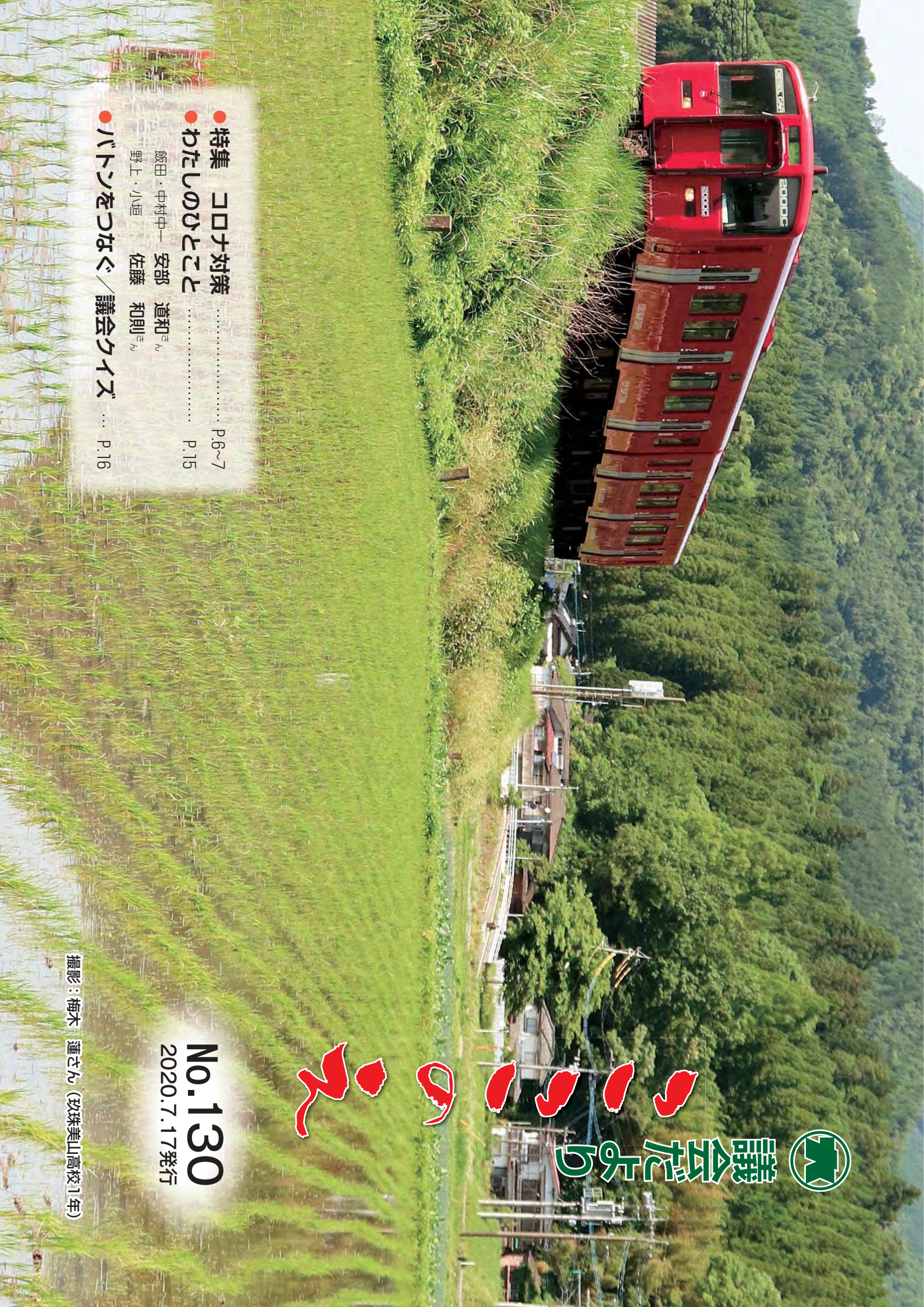




議会だより

130

No.130
2020.7.17発行

- 特集 コロナ対策 P.6~7
- わたしのひとこと P.15
飯田・中村中一 安部 道和さん
野上・小垣 佐藤 和則さん
- バトンをつなぐ／議会クイズ ... P.16

撮影：梅木 蓮さん（玖珠美山高校1年）

令和2年第2回定例会

本定例会は6月8日から6月22日までの15日間開催されました。

専決処分を含む報告2件、議案8件、請願1件、発議1件を
慎重に審議しました。

令和2年度一般会計補正予算(第3号)(第4号)

総 額

補正額 1億1,809万円

補正後の額 91億8,454万円

◆ 補正予算の主な内容 ◆

- | | |
|-------------------------------|---------|
| ○花き生産者作付支援事業補助金 | 1,100万円 |
| ○九重町観光宿泊施設緊急支援金 | 2,650万円 |
| ○老人福祉費・
新型コロナウイルス感染防止対策支援金 | 300万円 |
| ○商工会商品券・
感染防止対策経費助成事業補助金 | 2,810万円 |
| ○ふるさとクーポン事業補助金 | 4,101万円 |
| ○宿泊施設感染防止対策サポート事業補助金 | |

前号訂正 (3P)

A 想定範囲内であり、健全財政に努める。

機感はどうか。

Q 繰越金(貯金より)町債(借入金)を合わせると歳入の24%近くを占めるが、危機感はどうか。

繰入金

佐藤明郎議員



第 2 回定例会議案一覧

	番号	付託	案 件 名	結果
報告	2	無	専決処分の報告同承認を求めることについて	承認
	3		令和元年度九重町一般会計繰越明許費繰越計算書について	
議案	39	総建産	固定資産評価審査委員会条例等の一部改正について	可決
	40	教民観	手数料徴収条例の一部改正について	
	41		九重町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
	42		九重町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
	43		九重町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
	44	無	令和 2 年度九重町一般会計補正予算（第 3 号）	
	45		財産取得について	
	46		令和 2 年度九重町一般会計補正予算（第 4 号）	

(注) 全員一致の場合は「可決」または「否決」と記しています。
可否が分かれた場合は、各議員の意見等詳細を載せます。

佐藤 明郎

質問 コロナウイルスによる町内宿泊者の前年対比を調査したのか。
回答 おおよそ 8 割の減とみている。3、4、5 月については調査する。

質問 こども園、小、中学校の換気対策についてはコロナ対策だけでなく継続的に行うのか。
回答 新しい生活様式として継続していく。

質問 ごみ収集車の更新基準は。取得から 8 年経過又は走行 20 万キロ越えとなっている。
回答

質問

増田 裕子

質問 宿泊施設の現状をどう把握しているか。予算の根拠は。
回答 非常に厳しい。4 月、5 月はキャンセルの電話が相次ぎ休業したところもある。規模が大きいほど打撃も大きいと考え部屋数

補正予算質疑

こんな意見が出ました

基準を設定した。

質問 施設の従業員等、解雇や待機を余儀なくされた方々への独自の支援策を考えているか。
回答 国の雇用保障もみながら、今後あらゆる施策を考えていきたい。

小川 克巳

質問 宿泊施設緊急支援金の内訳は。
回答 部屋数に応じて支給する。

質問 ふるさとクーポン宿割り 2000 円はひとりに対してのものか。
回答 一泊一部屋の割引としている。その他、豊後牛や玖珠米のお土産に 3300 円も考えている。まずは第一弾と考え、次の支援も考える。

質問

菅原 美好

質問 老人福祉費の感染防止対策支援金の内訳は。
回答 老人施設、病院、歯科医院を対象として、衛生用品の購入等にあてる(職員の慰労品購入も可)。職員一人あたり 5000 円程度になるよう制度設計。

麻生 良典

質問 発熱外来設置や備品の支援を行っているが、季節性インフルエンザの流行と重なる事を考え、更なる医療対策は早急にするべきではないか。
回答 医師会と協議しながら早急に対応する。

予算額 2,650 万円 (100 件分)

部屋数	支給額
■ 5 室以下	10 万円
■ 6 ～ 10 室	20 万円
■ 11 ～ 20 室	30 万円
■ 21 ～ 30 室	40 万円
■ 31 ～ 40 室	50 万円
■ 41 ～ 50 室	60 万円
■ 51 室以上	70 万円



感染症対策となる仕切り

避難所における感染症対策

大雨による災害が心配されるこの季節、避難所のありかたについて質しました。

子ども連れ、高齢者に対する配慮の必要性に加え、避難所における感染症対策も確認しました。

新たな対策として、家族単位など少人数のプライバシーを守りながら、感染症対策となる仕切りなど現物を実際に見て、有効性を実感しました。



工事申請で整備されたガードレール

区長からの工事申請の扱い

ライフラインの整備に対し、各区長から提出された工事申請の扱いについて、担当課へ強く申し入れました。

具体的には、出された申請は、優先順位や予算の関係で、1年、2年と待つことは理解できるが、各行政区では、年度によって区長が改選されるので、年一度でも申請者に対し状況の報告をしないと地元に不安を与える可能性がある。

信頼関係が大事であり、徹底した対応を求めました。

防災無線 デジタル化 3年計画：約11億円

1年目

発信関係工事

2年目

屋外スピーカー工事

3年目

屋内受信機

総務建設産業常任委員会

審査報告

議案

1件

常任委員会報告

防災無線の期限切れに伴い今年から3年計画で、約11億円の予算を確保し、デジタル化することが決定しています。

委員会において、どのようなスケジュールで実施するのか確認しました。

1年目は、情報を発信するための設備を整えます。

2年目は、皆様の地区に立っている屋外スピーカー関連の工事を行います。

そして、最終年に各家庭の屋内受信機を整備します。

以上の説明を受け、委員会として、担当課に対し屋内受信機の役割は、防災上非常に重要であることから、完全移行するまでの間、各家庭の受信機の不具合や、故障に十分な対応ができるのか、確認し交換することも含め、想定される台数確保もできているとの回答でした。



2年目
屋外スピーカーを整備



3年目
屋内受信機を整備

九重町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

現在、放課後児童支援員は、一定の資格を有し、且つ都道府県知事又は政令指定都市の長が行う支援員認定資格研修の修了を要件としています。これに加えて、中核市の長が行う研修の修了も資格要件の対象となりました

九重町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

地域型保育事業所を卒園した児童の受け皿確保について、先行利用調整等により引き続き教育・保育の提供を受けることができる場合には、連携施設の確保は不要となります

九重町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

- ①代替保育に係る連携施設の確保義務が緩和されます
- ②保護者の疾患や障害等により養育を受けることが困難な乳幼児には、居宅訪問型保育の実施が可能となります



手数料徴収条例の一部改正

マイナンバーカード利用促進のため、通知カードの再交付等の手続きが廃止されたことに伴い、通知カードの再交付手数料に関する規定が削除されました

◆◆◆◆◆ 皆さんからの請願は採択されました ◆◆◆◆◆

請願

少人数学級推進・複式解消など定数改善と、義務教育費国庫負担制度2分の1復元および制度の拡充に係る意見書の提出に係る請願書

大分県教職員組合玖珠支部 執行委員長 秋好努氏、玖珠郡PTA連合会 会長 相良和利氏、九重町小中学校PTA会長一同、からの請願です

学校現場での課題がますます複雑化・困難化しており、子どもたちの教育環境改善には、少人数学級を推進し複式学級を解消すること、教育の機会均等と水準の維持向上には、義務教育費国庫負担割合を2分の1に復元する等制度の拡充が必要である。本請願の趣旨は理解できるため、採択し、国の関係機関に意見書として提出します

◆◆◆◆◆ 新型コロナウイルス感染症対策 ◆◆◆◆◆

新型コロナウイルス感染症対策に関しては、定例会会期に拘らず、適時委員会を開催し、必要な施策・事業の協議を行い、委員会としての支援を行います

訪問してきました！

九重“夢”大吊橋

九重町の外貨獲得源である九重“夢”大吊橋の状況をヒアリングした。

前年度の訪問者は約10%減であったが、国内者は微増であった。しかし、4月は新型コロナの影響で、対前年比90%減となり、再開後の6月は持ち直しつつあるが昨年には遥かに及ばない。

衛生面の対策は、マスク、消毒やデスタンス確保等行っているが、渡橋時を含め屋外ならではの困難さがあり工夫を重ねている。まさにゼロからのスタートであり、新たな価値の付加や各種メディアの活用を模索している。

積極的にトライしていくとのこと。皆様のご意見をどしどしお寄せください。



職員の河野さん、佐藤さん、麻生さん、川野さん

玖珠郡発熱外来(両町支援)



山下院長/高田病院と発熱外来

玖珠郡発熱外来が設置された高田病院を訪問し、山下院長のお話を伺った。

両町の支援により郡内に設置できて感謝している。以降約3週間、かかりつけ医の紹介で15名の患者を診断した。広い駐車場に大きなシェルターで、院内の精密検査室もすぐ近くにあり、安全で迅速に対応できている。

コロナ感染者は発生していないが、冬季には季節性インフルエンザ患者が増えるため、しっかりと準備する。住民の健康維持には、行政とのより一層の緊密で円滑な連携は欠かせない。

くじゅう山開き 遭難者追悼回向法要・安全祈願祭



九重山系を望み参拝

くじゅう観光連盟主催の法要・安全祈願祭が6月6日に久住高原荘で行われ、首藤竹田市長及び日野九重町長を始めとする関係者が出席しました。時節柄、屋内は避け、高原荘の中庭で九重山系を正面に望みながら、厳かに執り行われました。

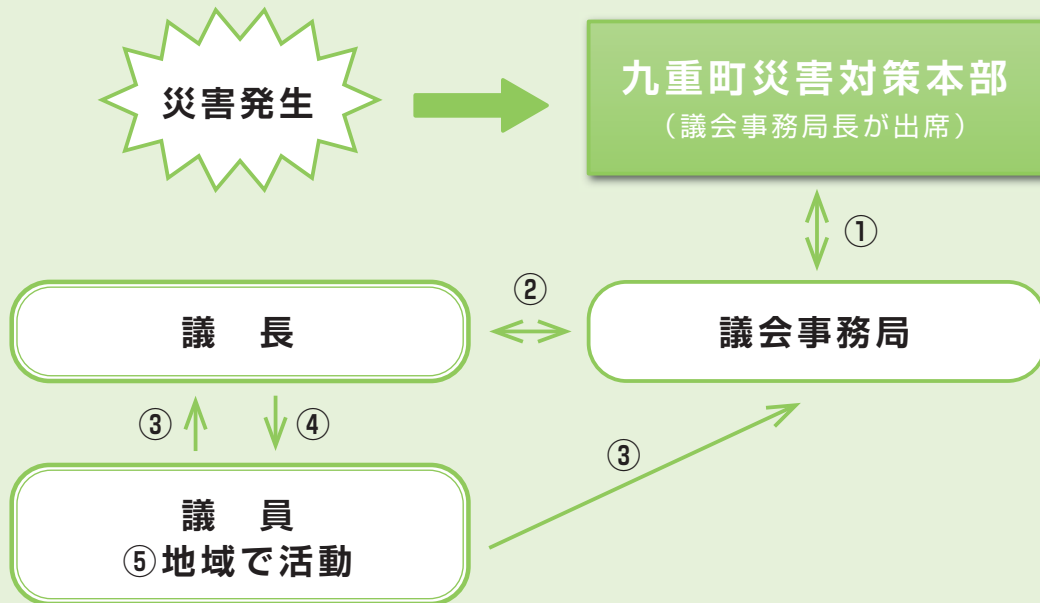
今年も多くに登山客が訪れることが予想され、皆様のご無事を心から祈っています。

**山の日(8/11)全国大会 大分
来年に延期となりました。**

その時、議会は！

議会では、「九重町議会災害対策会議設置要項」を定め、「災害時議員行動マニュアル」を作っています。

「九重町議会災害対策会議」の連絡網もあります。



- ① 議会事務局長は、町災害対策本部に出席し、必要な情報を収集する。
- ② 議会事務局は、町災害対策本部で得た情報等を議長に報告するとともに、必要な指示を得る。
- ③ 議員は、混乱が落ち着いた段階で、議会事務局又は議長に安否を報告し、連絡体制を確立する。
- ④ 議長は、必要に応じて議員に災害状況等の情報提供を行う。
- ⑤ 議員は地域において、被災状況に応じた支援に努め、安全確保や避難所への誘導など、できる限り協力する。

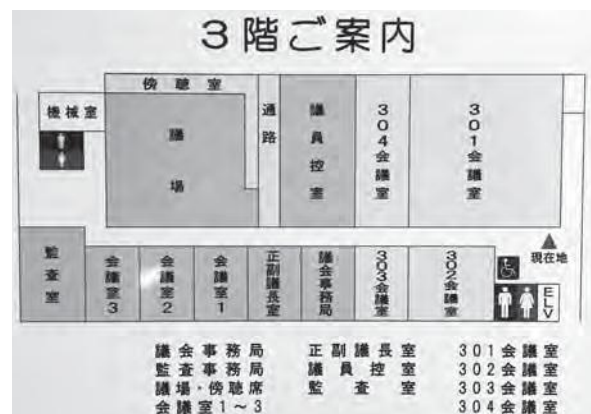
↑このようなイメージで動きます。

今回の新型コロナウイルス対策にも、これに準じて対応しました。

議会クイズ

(答え)②役場庁舎3階

エレベーターを上がると、左奥にあります。
どうぞお気軽に傍聴にいらしてください！
手前に議会事務局があるので、わからないことはたずねてくださいね。



5/15 令和2年 第3回臨時会

提出議案

議案番号	件 名		理 由	結果
報告第1号	専決処分の報告同承認を求めることについて			
	専決第5号	町税条例の一部を改正する条例	法 律 改 正	承認
	専決第6号	国民健康保険条例の一部を改正する条例	国 施策対応	承認
	専決第7号	九重町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	国 施策対応	承認
	専決第8号	令和2年度九重町一般会計補正予算（第1号）	国県施策対応	承認
	専決第9号	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	国県施策対応	承認
議案第37号	令和2年度九重町一般会計補正予算（第2号）			可決
議案第38号	令和2年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第1号）			可決

令和2年度一般会計補正予算(第2号)総額90億6,645万円 で確定！
財政調整基金から 1 億3,000万円 追加補正!!

どげーなっちゃんへ???

議員が質す！ コロナ対策と補正予算の目的・規模・適正

議案第37号 九重町一般会計補正予算(第2号)

報告1号専決第8号 一般会計補正予算第1号

教育・情報

菅原 美好 Q 中学の受験スタッフ補充の目的は
 入試対策に特化し補充学習を放課後に行う
 通学バスの追加配送の計画は
 現段階で1学期末の8月7日までを予定
 職員のリモート勤務等必要な設備の計画は
 ウェブ会議対応を可能にし、公共施設同士や県との
 連絡を先行する

佐藤 明郎 Q
 A Q
 麻生 良典 Q

観光業

麻生 良典 Q 観光面での支援が不足しているのでは
 今後のタイムリーな支援策を検討している
 中小企業の定額給付について詳細な説明を求める
 個人・法人ともに2月から4月の間、昨年比で
 20%以上の収入減で支給対象
 自粛期間であるが県外からの観光客等の対策は
 特に連休中のやまなみハイウェイで3密回避を呼
 びかけた
 国内向けにもつと魅力の発信ができないか
 地方創生臨時交付金の活用で既に準備している

増田 裕子 Q
 A Q
 岐部 俊哉 Q

農林業

佐藤 明郎 Q 園芸振興費の補正には花卉以外に具体的にないか
 精肉の余剰在庫については聞き及んでいる
 花き生産者はコロナとオリンピック延期でダブル
 パンチ。是非早急な対応を願う

佐藤 博美 Q

麻生 良典 Q マスクと1ℓ消毒液の購入予定は
 マスク17,000枚
 手指消毒液100本 補充液50本／4ℓ
 マスク購入今後の計画は
 30,000枚の在庫を計画
 マスクの購入時期と価格は
 購入準備に入っており、1枚48円で予算計上

増田 裕子 Q
 A Q
 野上香代子 Q

町政を質す 一般質問

6名の議員が質問

野上香代子



新型コロナウイルス関連の行政対応について

…… 対策本部で協議し対応。方針の決定を行った

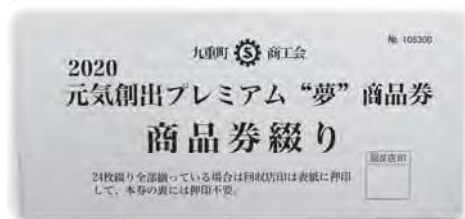
町のコロナ対策は

野上 コロナウイルス対策本部の構成員と設置から現在までの対策内容は。

町長 町長を本部長として副本部長に副町長、教育長、事務局長に総務課長、事務局次長に健康福祉課長、本部員に各課長、参事、園長で構成され迅速かつ的確に対策が行われるように、関係課との連携の上、物事を決めていった。

野上 商業に対する支援策は。

町長 地元の応援プレミアム付き商品券、中小企業応援定額給付金及び融資に対する利子補給の3事業で支援を行っている。



20% プレミアム商品券

野上 観光に対する町独自の補助を考えると如何か。

町長 宿泊業のダメージが大きく早急に各種補助事業等を用意して対応する。

野上 避難所での密を防ぐ方策は。

町長 指定避難所を可能な限り多く開設する事、避難所以外の場所へ避難する事、又は在宅避難等を考えている。町民への周知徹底を図る。

野上 高齢者の感染予防措置は。

町長 感染予防のための正確な情報を届ける。自宅

でできる体操の放送等を行っている。

野上 休校中の児童との連絡方法は。

教育長 学校のホームページの活用、一斉メールの配信、また電話での連絡、家庭訪問で連絡をとっていた。

野上 ICT教育の必要性を考えているか。

教育長 今後必要と認識している。

野上 オンライン授業の可能性は。

教育長 早急に環境整備を進める。

ホームページについて

野上 ホームページの更新は。

町長 各課で権限を持ち公開まで行っている。

野上 ホームページに対する見解は。

町長 月平均23,000のアクセスがある。九重町アピールには有効な媒体である。

野上 ホームページに届く意見の数は。

町長 昨年52件。観光についてが多い。

野上 頻繁な更新はできないのか。

町長 今後努力する。



九重町のホームページ

令和の時代を生きる！ 第6弾 2020「人づくり」は「町づくり」

新型コロナ後を見据えて 交通・情報インフラ再構築

…………… これからもそれぞれ前向きに整備していく



岐部 俊哉

交通インフラ再構築について 防災・観光と安心安全の道づくりと バスの利便性向上

岐部 今後社会基盤整備総合給付金と災害安全給付金で整備する予定の路線は。

町長 県道田野宝泉寺停車場線と田野野上線について積極的に県に要望していく。

岐部 2025 年以降、後期高齢者の激増と免許証返納者の増加が予測される。現在路線の無い行政区数と今後の再編計画は。

町長 路線の無い行政区は 2 区であり、路線バスは平成 30 年 3 月に地域公共交通再編実施計画を作り 5 年毎（コミュニティバスは 3 年毎）に見直している。

岐部 行政区で集落の広さに差がある為、もう少しきめの細かい見直しが必要だと考えるが。

町長 令和 3 年 9 月までに地域交通協議会等で意見を伺い検討する。

岐部 四国では国土交通省が実証実験をしているが、スクールバスの混乗の予定はあるか。

教育長 現段階では予定していない。

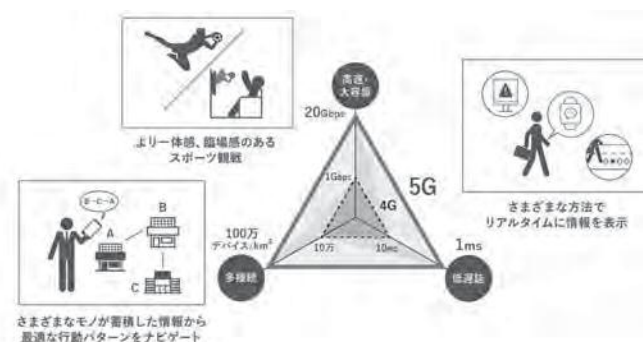
迅速で安全安心な情報を提供できる インフラ新構築 マイナンバーカード・行政無線・Wi-Fi・ルーター

岐部 マイナンバーカードは『持って便利・使ってお得・いざとなったら命を救う』こんなカードにしていきたい。

町長 利用価値が限定され普及率も上がらないのが現状である。

岐部 防災については無線放送の他メール配信も考えていただきたいが、防災行政無線のデジタル化で何が変わるのか。

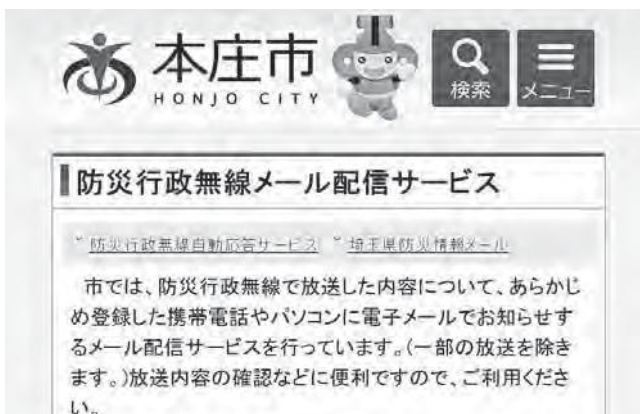
町長 双方向でのやり取りができる為町内に屋外拡声子局を設置する予定である。



学校の情報インフラ整備について

岐部 リモート授業やオンライン授業の整備は今後不登校やその他教育相談でも利用の可能性が生まれてくるのではないかと。

教育長 リモート授業は非常に重要だと認識している。今後ネット接続可能なタブレットの貸し出しも含めてWi-Fi 環境の整備に取り組む。



防災行政無線で放送した内容を、あらかじめ登録した携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせするメール配信サービスを行っています。

麻生
良典



戸別受信機の老朽化に対応すべき

…… 防災無線デジタル化の中で受信機を入れ換える。要望にはいつでも対応する

災害対策（業務継続計画等）

麻生 大災害時の役場の代替施設として、文化センター等近隣の施設は不適當である。断層帯の位置から考えて、町の北部の施設、もしくは玖珠町の施設の借用も考慮すべき。

町長 新耐震基準に適合した施設であるため選定した。玖珠町とはコンピュータシステムが異なるため現在は困難であるが、広域的な視点でも考えていきたい。

麻生 大災害時には代替施設に職員が集まらない可能性がある。リモートワークの環境を整備すべきではないか。

町長 現時点では職員個人の携帯電話を活用している。リモートワークは住民の個人情報保護の観点から困難である。代替の複数の公共施設に分散集合も考えられる。より良い方策を調査研究している。

麻生 防災無線の戸別受信機は換え時ではないか。点検や修理の対応も望む。

町長 今年度から三か年で行う防災無線のデジタル化の中で戸別受信機も更新する。現有の受信機は故障時に交換しており、要望に応じて対応する。

麻生 スマホを活用した情報発信や受信にも取り組むべきではないか。

町長 防災無線やCATVに加え、スマホの活用について検討を加えたい。



聞こえにくいこともあるし
電池切れにもご注意

SDGsの取り組み

麻生 住民に向けたSDGsの学習会はいつ頃どのように行うのか。

町長 区長会で行う予定であったが実施できなかった。講演会形式が望ましいが、CATVの活用も視野にある。

麻生 マイバッグの配布は何時か。それ以外に取り組む施策はあるのか。

町長 10月頃の予定。生物多様性重要スポットの植生調査、気候変動に関する教育等である。SDGsと施策との関連付けを常に意識している。

新しい常態での社会教育とBASARE

麻生 生活の仕方が大きく変わり、この先が不透明である。都市部は詳しく報道されているが、九重町民としてどう行動すればいいのかよくわからない。社会教育の面での考えは。

町長 社会教育活動の基本である“集う”ことが制限されている中、ICT、CATVや広報紙の形を模索している。国や県の情報も取り入れ実行策を考える。

麻生 社会教育の基幹の一つである公民館発行のBASAREについては、様々な意見がある。BASAREの有用性をどう評価しているか。

町長 新規性がある、センスが良い、楽しみにしている、他市町村にも配布を等の意見があり、成果を上げていると思う。発行回数や紙面の大きさに関する要望もあり、調査分析をしてより良い刊行物にしたい。



リモートも“集い”や教育や
会議に使いましょう

緊急経済対策と諸政策のありかた

麻生 大きな影響を受けた観光業、商工業、農業に九重町は幾つもの支援を実施しているが、これで十分と考えるか。

町長 十分ではない。さらに幾つかの支援を立案中である。この先に予想される第二波第三波に備え、万全な感染症対策と社会経済活動の復活の両面で種々の対応が必要になるであろう。

麻生 今回のことを経験する中で、諸産業の政策を見直さざるを得ないと思うが。

町長 観光面では、複数国に立脚したインバウンド、量から質への移行、付加価値の提供を目指す。農業面では、分散型社会への移行により農村部への田園回帰が強まることが予想され、U・I・Jターンや移住就職相談体制を充実させて、持続可能な農業を目指す。

その他、九重町防災の日や登山時の防火対策についても質問しました。

コロナ対策 充分な町独自の支援を

…………… 今後の状況を見ながら タイムリーに対応



菅原 美好

マイナンバーカードの推進を

菅原 平成28年総務省が導入したマイナンバーカード制度。貯金口座と連結し、カード1枚で、健康保険証として、給付金の振り込みもスムーズにいく、マイナポイント最大5,000円分もつく、職員は全員、全町民に申請してもらい、推進しては。

町長 職員の取得率は3割位である。カードは本人を確認する有効な手段である。取得するメリット、利便性を考え、独自の取り組みを進め、広報活動をしっかりとやって推進する。

菅原 花き生産者には苗代の1/3補助をしている。他の野菜生産者にも補助を。子牛価格が暴落しており、一頭当たり数万円の飼料代の補助を。乳牛農家にも。木材価格の下落で、札が入れない状態である。林業作業者の仕事も減っている。補償、補填を考えては。

町長 他の野菜生産者にも、市場の動向を見て、適切なタイミングで事業実施を考えている。子牛価格や木材価格の下落は把握している。国の補正予算で、畜産、林業にも支援が提案されている。国や県の支援策を精査し、今後の産業状況を見ながら、適時に対応を考えていく。

菅原 宿泊業、飲食業も大打撃を受けている。宿泊クーポン、飲食クーポンの発行を。宿泊客には、九重バーガーの無料クーポン、つり橋の招待券の配布などで援助を考えては。

町長 関係団体と調整し、時期を逸しないよう、経済再活性化に向けて、取り組む。

菅原 病院や介護施設の職員も、今まで以上にコロナで大変だ、御苦勞の感謝の気持ちで、商品券を差し上げてもいいのではないかな。

町長 内部で検討してみる。

町長選は

菅原 今年10月25日、任期を迎える、コロナで大変だが、今時点の考え、感想は如何か。

町長 住民や議会の皆さんと一緒に対話する行政で信頼関係を結ぶことを最優先に、住んでよかったと言える町をつくることを最大の目標で、今、コロナで大変だが、スピード感を持って、最大限努力して、チャレンジをしていきたい。

知らないうちに、拡めちゃうから。



出典：厚生労働省HP

町政を質す 一般質問

増田 裕子



コロナ対策を、町をよりよく変えていくチャンスに！

…… 様々に検討していきたい

新型コロナウイルス対策に関連して 明らかになった町の課題は

増田 災害備蓄で消耗品の毛布やオムツ・生理用品等はどのくらいあるか。ハザードマップ作りを推進する積極的な計画は。

町長 毛布は各災害倉庫に20枚程度。オムツ等はないが、関係機関や団体等と連携して準備していきたい。マップ作りは、まだ整備されてない地区に積極的に働きかけ、20件を目標に取り組む。

近隣の人たちとの連絡関係をしっかりと構築しながら、被害者を出さないという精神の下とりくむ。



各地区に配置された防災備蓄倉庫(南山田ふれあい交流センター)

増田 学校教育で明らかになった課題と解決策は。

教育長 ①長期休業における学力の保障… ICT環境整備、②感染症対策…備蓄増やす、③スクールバスの密対策、④休校時における児童の居場所と安全の確保、今後も児童・生徒・保護者、学校現場の意見や要望を聴きながら対策を進めていきたい。

成人式、今後「20歳のつどい」へ！ 当事者中心の、時期ややり方に変えよう

増田 昨年9月に提案した当事者・関係者へのアンケートと時期やあり方の見直しは怎么样了。

町長 新型コロナウイルス感染症等の観点から今年度に限り、令和3年1月10日に開催予定。アンケートは実施していない。今年度中には行う。

安心安全な食べ物を次代につなぐ、 農業と観光の九重町、全体で考えていく必要

増田 種子法が廃止され(2018)、種苗法も改定の動きがあるが、町の農業従事者への影響、心配される点は何か。

町長 県では「主要農産物種子制度基本要綱」を制定している。県内で必要な優良種子は県内で確保する取り組み。懸念は、農家が国内大手や多国籍企業が作った種子しか使うことができなくなるおそれがあり、負担増や自主性が損なわれる等。



色々な取り組みがいっぱいの図書館

具体的に提案しました

- ・ 防災情報の多様化（無線放送・ケーブルテレビに加えて）SNS（ラインの公式アカウント等）や人口知能を活用
- ・ ケーブルテレビ、コロナ対策期間中に引き続き、住民主役の運営
- ・ 町の図書館に電子図書（家で借り読める）を導入する
- ・ 成人式→20歳のつどいに（40歳のつどいも）

答弁
「検討していく」

苦しむ町民へ、行政の対応は、

…………… 町全体の状況をしっかり見ながら検討している



佐藤 明郎

事業の見直しが必要

佐藤 新型コロナウイルスの影響を受け、苦しい状況にある町民の支援を行うため、全庁あげて取り組むとのことであった。

各課を挙げて、今年度事業の見直しはしたのか。

町長 各担当課において、関係機関にも確認をして多くの事業について実施が可能であると認識している。



コロナ対策の財源

佐藤 コロナ対策に必要な財源は全て、基金からの繰り入れだが、この点について、どう考えてるか。

町長 非常事態に備えた基金なので、取り崩してやっていきたい。国からの交付金が来たら、充当変えを行いたい。

基金以外の財源確保

佐藤 今年度、実施が厳しい事業は予算を落として町民支援のコロナ対策費に充てるべきと考える。なぜ、今年、中学生を台湾に送る必要があるのか。なぜ、この予算は落とせないのか。これは一つの例にすぎない。

町単独の事業など、見直しができる事業は、早急

に対応すべき。町民支援を行政あげて取り組む姿勢こそが大事である。

教育長 確かに、その部分は協議をしている。6月議会ではできなかったが、今後落とすことで協議中である。

小中学生対象の様々な集合学習、これらも中止の方向で予算を削れないのかも今検討している。

町長 説明の追加になるが、各課から検討内容を聞いている。総額1億円程度。その時点ではあるがどうにかなるのでは。とのヒアリングを行っている。国、県の状況の確認も必要、町全体の状況をしっかり見ながら、判断しているところである。

JA所有の補助事業対象施設について



補助事業で整備したトマト選果機

佐藤 JAが所有する選果場やライスセンターは、行政の補助金で整備している。経営体の都合で移設など自由にできるのか。

町長 法律の規定がある。今後も目的外使用とならないように運営されると認識している。

その他に、災害対策公園の必要性について質問しました。

わたしのひとこと

地域と共に

飯田 中村中一
安部 道和さん



私が初めて地元行事に参加したのは小学2年生の時、白鳥神社秋の収穫祭での楽打でした。当時、小学生になると参加することが出来、小学1年生から中学3年生まで約30名の子どもがおり指導者は地元の青年団でした。初めは知らない人が多く馴染めませんでしたが、練習を通じて時には優しく時には厳しく教えてくれ練習が段々楽しくなってきました。特に思い出に残っている事は練習後のお菓子と時々連れて行ってくれた夜のドライブです。又、小学6年生での飯田少年クラブでは年間を

通じて乗馬体験や夏のキャンプ、川遊びなど飯田でしか出来ない多くの体験をさせていただきました。このような体験があったからこそ地元が好きになりました。今現在地域の行事に参加させていただき子どもたちなど多くの方々と関わりを持たせていただいています。その中で今度は私が子どもの頃いただいた貴重な体験を次世代の子どもたちに伝えていく事が出来れば嬉しく思っています。



お宝探検隊

じいじ、ばあば うまいよ。

野上 小垣
佐藤 和則さん



スマホの画面から溢れんばかりに口いっぱい頬張る1歳と4歳の孫。
2月に帰郷して来た時に孫と一緒に極早生種のジャガイモをハウスに植えた。5月末に収穫したので送った。母親に自分が植えた事を自慢げに話している。
孫との会話が唯一の楽しみで農作業の疲れも一気に吹き飛ばす瞬間です。
10年前になるでしょうか？町づくり会議の座長として『自給率100%の九重町』を提言したのを機に、我が家の自給率も少しずつ高めて来

ました。88歳になる叔母が2年前醤油づくりを止めたので、1月に樽を引き継ぎ醤油造りに挑戦しました。蒸し大豆に醤油用の麹菌を散布して温度に注意しながら3日間。緑色の菌糸を纏った醤油麹が出来たので塩分濃度18%で仕込みました。一週間後に部屋をアルコールで消毒して注意を払いながら豆味噌麹づくり。今年は上手くいったので期待が持てます。何れも2年後に口に入ります。小麦の刈り取りも控え多忙極まる日々です。
まさかコロナ禍で先行きが全く見えない世の中になろうとは！
農家でよかった。自給率を高めてよかった。ようやく山村にも木漏れ日が？



醤油樽



バトンをつなぐ

第6回

議員リレー

地区リレー



⑥ 増田裕子

九重町に移り住んで24年。
ここに来て本当によかった！と
感じています。
今回の非常事態の下、都会生活
の脆弱さや不自然さがはっきりし
ました。田舎こそ、これからの生活
モデルです。
大好きな九重町！
素晴らしい自然環境と、人々の
暮らしを守り育てたい！
議員活動5年目、次の世代に希
望をつなぐことが使命だと感じて
います。



東飯田
恵良組盆踊り保存会の練習が始まりました



南山田
弁当作りボランティア再開！

議会クイズ

九重町の議会、
さて議場はどこにあるでしょう？

- ①文化センター2階
- ②役場庁舎3階
- ③泉水グリーンパーク内

(答え) 7ページを見てくださいね

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局:76-3814】

令和2年7月17日

発行／九重町議会 編集／議会広報特別委員会

〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1

☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809

メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

編集後記

新型コロナウイルス感染症により、私達が今まで過してきた普通の暮らしが普通でなくなっ
てしまいました。感染防止の為
に、めっきり人と会う事が減っ
てしまいました。「ステイホーム」
おうちで過しましょうと言われて
過した期間、いろいろと考え
させられました。

今回の議会はコロナウイルス
感染対策がメインでした。国・
県・町と多くの対策が行われて
います。みなさんが、身近に感
じたのは特別定額給付金(10万
円)やプレミアム商品券ではな
かったでしょうか。

まだまだ多くの問題も山積し
ていますがみなさんの健康がい
ちばん。気をつけながら新しい
生活様式をみつけましょう。

野上 香代子

広報委員長 増田 裕子
副委員長 麻生 良典
委員 有吉 富生
委員 佐藤 明郎
委員 岐部 俊哉
委員 野上 香代子